

平成 30 年度 第 2 回美祢市行政改革推進委員会 会議録（概要）

日 時 平成 30 年 12 月 6 日（木） 9 時 30 分から 11 時 30 分まで

場 所 市役所本庁 3 階 委員会室

出席委員 井上静夫委員、下松富二夫委員、仲間瑞樹委員、宮崎義明委員、山田悦子委員  
河村裕之委員、白松万司委員、磯村昭二委員、棕梨敬介委員、  
秋山史之委員 向山久高委員

欠席委員 永井政夫委員

事務局 総合政策部 藤澤部長、繁田部次長 企画政策課 印藤課長補佐 森係長

【概要】

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 第三次美祢市行政改革大綱（案）の修正について

- ・大綱（案）の修正についての説明の前に、定員管理の考え方について総務部長から、公共施設管理について市長公室長から説明
- ・大綱（案）の修正について資料 1 に基づき事務局より説明

【委員からの主な質問と回答（要旨）】

定員管理について	
委員	平成 35 年度目標値 333 名の設定根拠が類似団体を参考にしたという話であるが、これは同規模の自治体を参考にしたということか。
事務局	人口規模、産業構造が美祢市に近い 126 の自治体の平均値を参考にして目標値を設定しています。なお、部門ごとの比較も行っており、美祢市の場合、観光に力を入れているので、観光に携わる職員を多めに配置するというをやっています。
PPP／PFI 優先的検討規程の策定について	
委員	PPP／PFI 優先的検討規程の策定に取り組まれてはどうか。
事務局	第三次美祢市行政改革大綱実施計画の中で、「PPP／PFI の導入に向けた推進体制の整備」として位置付け、平成 31 年に規程等の策定に向けた調査研究を行い、平成 32 年度に規程等の策定を行うこととしています。
人材の登用について	
委員	積極的な専門人材の登用について、どのような展望を持っているか、また、その程度の規模を考えているかお伺いしたい。
事務局	例えば ICT に精通した人材や、民間企業を退職された方で、企業とのつながりを持っているような人材を想定していますが、具体的な人数までは考えていません。

【委員からの意見（要旨）】

- ・首都圏の最先端の企業で働く若い人材を副業・兼業で美祢市に来てもらう取組をしてはどうか。

(2) 第三次美祢市行政改革大綱実施計画（案）の修正について

- ・資料2に基づき事務局から説明

【委員からの主な質問と回答（要旨）】

時間外勤務の縮減の成果指標の設定について	
委員	時間外勤務の縮減についての成果指標を設定するに当たっては、1人当たりの時間外勤務時間数がどのくらいになるか考えた上で設定した方が良いのではないか。
事務局	御意見のとおり見直します。
時間外勤務時間縮減のための具体的取組について	
委員	時間外勤務時間を実際に減らしていくに当たり、具体的にどういった取組を実施していくのかお伺いしたい。
事務局	ノー残業デーを徹底したり、時差出勤に取り組んだりするほか、管理職を中心として業務を見直すことにより、無駄な業務を洗い出し効率的に業務を進めていくことにより労働時間を短縮していこうと考えています。
特別会計等からの繰り入れについて	
委員	観光事業特別会計から一般会計に繰り入れることが行政改革なのか。また、繰入金は臨時的収入に当たり、一般会計の経常的経費に充てると難しい問題があると思うが、その辺りの整理はされているか。
事務局	財源の確保という観点から行政改革の項目として挙げています。繰入金は臨時的収入に当たりますので、当然臨時的な歳出に充てるべきという認識でいます。

4 その他

- ・参考資料2・3に基づき財政課長より市の財政状況を説明